

平成29年10月16日付【水道産業新聞】

＜水コン協臨時総会＞

公益社団へ定款変更 人材育成を重点に

公益社団へ定款変更

水コン協臨時総会

人材育成を重点的に

全国上下水道コンサル
タント協会(会長 野村
喜一・日水コン社長)は
9月28日、第35回臨時社



野村会長

員総会を東京都渋谷区の
けんぼプラザで開いた。
同協会は一般社団法人か
ら来年4月に公益社団法
人への移行を予定してお
り、総会では移行に伴う
定款と規則の変更につい
て審議し了承した。
主な変更は協会の理念
を「業界の発展」から「職
業の発展」を目指すこと
にした点。上下水道コン
サルタントの発展に必要
な環境整備・人材育成に
会員が主体的に取り組
み、業務遂行における技

術・倫理など基盤の確立
と底上げを図ることとし
ている。また、公益社団
法人の社会的信頼度の向
上をいかして重点強化す
る活動として、本部が主
体となるものが提案活
動、本部・支部が一体と
なるものは人材確保活
動、災害支援体制の充実
などをあげている。
これらを踏まえ定款は
「本協会は水道事業及び
下水道事業に関する調査
研究及び各種提案等を行
い、その成果を普及する
ことにより水道及び下水
道に係わるコンサルタン
トの資質向上と育成を図
り、もって上下水道の発
展と事業継続に貢献し、
広く社会公共の福祉の増

進に寄与すること目的と
する」に改正した。
野村会長は「公益社団
法人になると社会的責任

が重くなる。本部と支部
が一体となりながら、し
っかり活動していきな
い」と抱負を述べた。